

令和8年度 村岡中学校だより3

令和8年6月1日発行

ふるさとを愛し、自他を大切にして、志高く未来を切り拓く生徒の育成

<授業参観・PTA 総会> <My 弁当> <資源回収>



たくさんご参加いただき大変ありがとうございました。特に、資源回収では、晴天の中、皆様のご協力のおかげで、スムーズに活動ができたと思います。そうして集まった収益金は、PTA 教育後援会特別会計の大きな財源となり、部活動の補助、スキー教室の費用、卒業祝い品やお祝い給食、メール配信サービス利用料などに使わせていただいています。



<修学旅行> 5月13日(水)～15日(金)

1日目の夕方はにわか雨となり、東京ディズニーランドのパレードは中止となりましたが、その後雨はあがり、花火を観ることができ、思い出に残る修学旅行となりました。昨年と違う点は、1日目・2日目と都内の移動に電車を、3日目はバスを使ったことです。3日間ともバスを使えば大きな心配もないのですが、様々な料金の値上がりを受け、観光バスを貸切るよりも電車を利用の方が安価であること、都内の電車や駅の混み具合を体感することも一つの学びになると考えたことなどが理由です。ICOCAという便利な交通系のプリペイドカードを利用し、その便利さと注意点(都内電車料金の算出を誤ったため残高不足になることも?)も知ることができました。



(ちなみに、来年度の修学旅行はR9/5/27(木)～29(土)と決定しています)



<トライやる・ウィーク> **ふるさと教育**

兵庫県では、小学3年生で「環境体験学習」、5年生で「自然学校」、そして、中学2年生で「トライやる・ウィーク」と体験学習を積み重ねていきます。都市化や少子化、人間関係の希薄化など子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、それぞれの発達段階に応じて、人や自然、地域社会と触れ合い、理解を深めるなど、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、「生きる力」を育成するとともに、ふるさと意識を醸成することを目的として実施しています。



自然学校は昭和 63 年度から、トライやる・ウィークは平成 10 年度からそれぞれ 39 年目、29 年目となりました。自然学校で4泊5日、トライやる・ウィークで5日間学校を離れて体験活動をするのは、兵庫県では当たり前となりましたが、全国的には珍しいです。

<田植え体験> **ふるさと教育**

恒例の田植え体験（1年生）を実施しました。（ちなみに、学校の畑ではじゃがいもとさつまいもを栽培するため、4月初旬から畑の荒起こし、耕し、畝づくりと準備をします。）米づくりは畑の準備以上に、多くの手間暇がかかります。それらすべてを体験するには時間が足りないので、生徒は苗を植えるだけを体験させていただいていますが、これから稲刈りまでには水の管理、除草などなどしなければならないことがたくさんあります。毎年お世話になっている板仕野地区の皆様、本当にありがとうございます。



お 礼

令和8年4月、村岡区東中の伊藤さんから、寄付金を（2万円）いただきました。地域に設置された回収ボックスの収益金を中学校で子どもたち、学校のために使ってくださいと、持ってこられました。なお、この寄付金は、PTA会計に入れさせていただき、活用させていただきたいと思っております。ありがとうございました。



「お知らせとお願い」

村岡中学校では、原則、**毎週水曜日**を「**ノー部活デー**」、そして、職員の「**定時退勤日**」としており、いつもより早くに退勤します。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。